

親子で就職活動する時代！

北九州大学で、地場産業の経営者の方々に「面接試験の面接官」をやってもらっているそうです。大学生の面接スキルをアップする指導がなされているわけですね。ご存知のように、イギリスがEUを離脱する事により、「2018年問題」が起きそうです。また、消費税増税の年「2019年問題」が起きるでしょう。そして、オリンピック特需がなくなる「2020年問題」と、これからの高卒、大卒などの新卒は就職ができなくなってきます。そんな時に大事なのが、北九州大学の学生たちのように「会社経営者との接触」です。北九州大学の学生たちも、全員が一流の職場、超一流の職場に就職できるわけではありません。そういう生徒たちは、地場産業の企業に就職するわけですね。

しかし、中小企業の経営者と言えども、面識のない学生は採用したくないわけです。そこで、普段から北九州大学に出入りして、面接官として北九州大学の学生に接触しているわけです。もちろん、会社経営者たちも愚かではありません。「自分の会社より、もっと良い職場をこの大学生に紹介したい」といった考えをお持ちの方も、たくさんおられます。よって、その学生にとって「最善の職場」というものを紹介してもらえる場合があります。30歳や40歳になっても、就職せずに親の年金にぶらさがっている子供(?)たちが、日本全体でも数百万人はいるそうです。しかし、それは多くが「ミスマッチ」なのでしょう。不登校だった子を喜んで採用している社長さんと話をしましたが、「他の事はできなくても、その作業をさせればピカイチだ」とおっしゃるわけです。学校と同じように、なんでもできる「オールラウンダータイプ」の学生を求めている職場は多いですが、中には「プロフェッショナル」の人材を求めている職場もあります。私が参加している企業経営者の講和にも、博多の方では大学生がかなりの数参加しています。会社社長も、たくさん集まってくる場所ですから、人脈をつくるチャンスなんですね。

福岡市の学生たちは頑張っているなと思います。久留米でも毎月のようにやっていますので、大学生たちには参加して欲しいなと思います。全国で数百万人だから、久留米市内だけでも数千人の成人が働いていないのかもしれないから。高校生の参加は不可でしたから、工業高校や商業高校の方は保護者が参加してみるのが良いと思います。「職場見学に、お子さんを連れてきてください」と誘われるかもしれません。特に、今時の子供たちはスマホで「コネは悪である」と洗脳されています。よって、こういうイベントに参加せず、自分の将来へのコネクションを断ち切ってしまう場合は多いと思うのです。

かなり大変なお子さんでも、受験に成功している場合は「親の協力」が凄まじかったです。今年、西南大学に合格した生徒も毎回来たら寝ていましたが、それでも親が諦めずに毎日のように送り迎えして合格しました。親の粘り勝ちでした。同じように、働かない、働かないだろうと思われる子供たちでも、親がそうやって熱心に就職活動で努力をされるのであれば、道は開けると思います。

就職活動1年前、2年前に入っているのに活動しないという子供の親御さんは、こういう我々のような経営者の集まり（参加無料の講和はたくさんあります）そういうところで、人脈を作られ続けることをオススメします。